

一般質問

「市政こころが聞きたい」

6月15日(水)

待機児童ゼロ を目指せ!!



山田誠一郎（市民爽風会）

①保育所と放課後児童クラブ等における待機児童の現状は②保育所の待機児童解消に向けた今後の対応は③小規模保育事業や事業所内保育事業の施設数と保育定員は④保育士確保の取り組みは⑤夏休み等の児童クラブの待機児童解消策は。

答弁

①昨年度に比べ待機児童数は増加している②施設整備による保育定員の拡充に加え、新たに導入された地域型保育事業の推進を図りたい③家庭的保育事業1箇所、小規模保育事業11箇所、事業所内保育所3箇所、計15箇所。定員は0歳児から2歳児まで236名④配置基準について、保育士以外の人材活用が一部可能とされており、国の確保策を踏まえ検討したい⑤市内の大学と共同し学生指導員の確保に努め、余裕教室を活用した施設整備に取り組みたい
◆その他◆干潟よか公園の活用について

中学校の部活動 への支援策は



川原田裕明（自民政新会）

部活動は中学校生活の中で重要なものである。子どもたちが成長していく過程において、部活動がもたらす効果は大きいものがあり、積極的な支援が必要であると感じる。①教育委員会としての取り組み方針は②現在実施している支援策は。

答弁

①中学校の部活動は生徒の心身の発達を促す重要な教育活動である。部活動を通して、心身の健全な育成、友人関係の構築、体力の向上、健康増進、運動文化や芸術文化に親しむ基盤づくりといった教育効果を期待しながら取り組んでいる②外部指導者派遣の活用、九州大会や全国大会出場の補助、県主催の研修会への参加奨励、熱中症対策などの安全面への配慮、佐賀市中学校部活動あり方検討委員会からの提言に基づく指導、助言などを行っている。

土曜授業の 実施状況は!



重松 徹（自民市政会）

学習指導要領の改訂により授業時数が増加したため、教師と子どもたちが向き合う時間が不足する中、子どもたちに今まで以上の指導が必要となり、土曜授業が実施されるようになったと思うが、今回初めて実施して混乱等はなかったのか。

答弁

今年度から年間5回、土曜日の午前中に授業を行うこととしている。6月4日に1回目を実施したが、混乱なく実施することができた。当日の授業で行った教育活動の一例を挙げると、日常的な授業はもちろん、プール開きや相撲大会などの恒例行事を実施して、保護者の参観の機会を増やしたり、親子のふれあい活動や緊急時の引き渡し訓練などの保護者参加型の活動を実施するなど、土曜授業の趣旨を踏まえ、各学校で工夫して行っている。
◆その他◆子ども・子育て支援新制度の開始から一年を経た現状と課題について

地震の対応は
大丈夫か？

宮崎 健 (政友会)

①4月に発生した熊本地震において、本市も震度5弱の揺れを記録したが、避難所開設の状況はどうだったのか
②今回の地震では、防災ラジオが作動していなかったが、今後の対応については、どう考えているのか。

答弁 ①通常は、避難判断マニュアルに従い避難情報を発令し、それに応じて避難所開設の準備を行う。

各公民館には常駐の管理人を配置しており、避難情報が発令されていない場合でも、自主避難者を受け入れることができる。今回は、自主避難に関する周知が不足していたので、自主避難や緊急連絡先等の周知について検討したい。②大雨や台風などの場合は、避難情報を放送することは可能だが、予測不可能な災害や深夜の場合の対応については、今後の研究課題である。

◆その他◆消防団のあり方について／熱気球世界選手権期間中の中心市街地の対応について

食品ロス削減
に向けて

山下 伸二 (市民爽風会)

まだ食べられるにもかかわらず廃棄されている、いわゆる「食品ロス」は、国内で632万トと推測されているが
①市の食品ロスの現状は②食品ロス削減の取り組みは③食品ロスゼロ推進店をメーカーや卸、小売業に拡大できないか。

答弁 ①全国と同じ割合で食品ロスが発生しているとした場合、事業系の食品ロスが3,544ト、家庭系の食品ロスが5,515トと推計される②事業系ごみに対する取り組みとして、3010運動と食品ロスゼロ推進店登録制度を実施。家庭系ごみに対する取り組みとして、エコ料理教室を開催し、教室の最後にはごみ減量講座を実施③推進店への登録要件にフードバンク事業へ食品提供することに加えると、食品ロス削減推進につながると考えられるため、前向きに検討したい。

◆その他◆中心市街地の活性化に向けた取り組みについて／文化財保護の取り組みについて

安全な公園遊具
を目指して！

池田 正弘 (公明党)

子どもの成長に欠かせない公園遊具の安全を確保するためには、定期的な更新が望ましいが、多額の費用が必要となるため、修繕による長寿命化も必要となる。今後の遊具の更新や修繕についての市の考え方は。

答弁 専任のパトロール員2名による日常点検、担当職員による随時点検、専門業者に委託して実施する遊具の安全性等の診断及び地域住民からの情報提供により、不具合のある遊具の早期発見に努める。不具合のある遊具は、その危険度に応じ、適宜、修繕・更新・撤去などの措置を講じることがもとより、平成25年度に策定した佐賀市都市公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な修繕や更新もあわせて実施し、安全、安心を第一に、適切な維持管理を行っていく。

◆その他◆予防接種事業について

タマネギ栽培に
おける病気対策は

中野 茂康 (自民市政会)

タマネギの栽培は、県や市、JAの連携した取り組みや安定した価格の後押しにより作付面積も増加し、若い農業者等も積極的に栽培に取り組んでいる。そういう中で、病気や天候不順により収穫量が半減しているが、その対策は。

答弁 防除対策に必要な機械の購入については、国や県の補助事業を活用できる。また、県、生産者、JA等を構成員とする対策会議が設置され、病気の発生を抑えるための生態の解明や抵抗性を持つ品種の探索、効果の高い薬剤の選抜、新防除体系の開発等の総合的な被害軽減対策の検討が行われている。さらに、病気の拡散防止や撲滅のためには、組織的・面的に徹底した対策が重要であることから、研修会や講習会等の開催について、関係機関と協議を行っている。

◆その他◆佐賀市の農業再生協議会について

6月17日（金）

保育園、幼稚園 へ人的支援を！



高柳 茂樹（市民爽風会）

保育士不足を解消するためには、保育現場への人的支援が最良の策であり、市が潜在保育士を雇用し、保育現場へ派遣するという方法を検討すべきと考えます。園長等との協議の場が必要であると思いますが、どうか。

答弁 市が直接潜在保育士を雇用

して保育園等に応援派遣を行うという方法については、保育士の確保の問題や派遣調整等の労務管理体制の問題、保育士の指導監督権や使用者責任の問題などから、実施することは非常に困難だと考える。しかしながら、保育士確保の問題については、喫緊の課題である。これまでも市の保育行政に現場の声をできる限り反映してきたが、引き続き保育園等との協議や意見交換を行い、市としてできる対策を検討していきたい。

◆その他◆スー

パーティーチャー制度について



佐賀空港の軍事 基地化反対!!



松永 恵明（社会民主党）

①「自衛隊との共用をする考えはない」とした公害防止協定覚書付属資料に基づく県への対応は②九州防衛局による地元住民説明会の開催に市の許可は必要か③「九州の一大防災拠点」発言に対する見解は④全体を通して市長の見解は。

答弁

①覚書付属資料の取り扱いの整理については、当事者である県と漁協の間で行われることが前提だが、必要であれば立会人の立場で真摯に対応したい②地元住民を代表して川副町4校区の自治会長が説明会を要請したものであり、市の許可は全く必要なく、九州防衛局が判断すべきである③最初の提案の中身が島嶼の防衛強化等であり、今後、防災の役割が主役になるものではないと考える④覚書付属資料についての整理が行われないままでは議論には入れないとの考えは変わらない。

◆その他◆持続可能な中山間地域づくりについて

桜マラソンに ふるさと納税枠を



千綿 正明（政研会）

桜マラソンは、エントリー開始から2時間で申し込みが締め切られるほど人気が高い。ふるさと納税枠を設けることで市税の増収につながり、また、それを大会の開催経費に充てれば経費削減にもつながると考えるが、市の考えは。

答弁

市では、昨年度からふるさと納税のメニューの中に桜マラソンを支援するメニューを設けており、ボランティア活動や応援を盛り上げるためのグッズ等の作成に係る経費の一部に活用している。出走優先枠の設定に当たっては、桜マラソンの主催団体に加入している佐賀県と神埼市との調整が必要である。佐賀新聞社、佐賀陸上競技協会も含めた主催5団体による運営委員会等で、ふるさと納税枠も含めたランナーの募集方法のあり方について協議していきたい。

◆その他◆グロ

バルギャップ取得の推進／無戸籍者への対応／マイナンバーカードの現状



地域コミュニティ 推進の問題点！



江原 新子（市民爽風会）

まちづくり協議会の活動との重複により、校区の中には国、県、市等の上部団体と組織化された団体の解散を検討するところもある。住民にとって情報を得る機会や参加機会を逸する不利益につながり、弊害とも言えるが、市の見解と対策は。

答弁

まちづくり協議会は、地域で活動する団体が地域の課題の解決に向けて全体を包括して話し合う場であり、各種団体が長年にわたって蓄積した知識や経験等は大変重要な要素である。また、上部団体とのつながりによる幅広い活動や情報共有等のメリットは、地域住民には大変有益なものである。各種団体の機能を維持しながら、できるだけ負担なくいかにして地域コミュニティの活性化につなげていくか、まちづくり協議会や各種団体と十分に協議していきたい。

◆その他◆母子健康手帳の電子化について

平和への願いを こめた平和展に



野中 康弘（社会民主党）

毎年開催されている平和展は、様々な内容が企画され、平和を願う意義の深い佐賀市の取り組みとして定着している。①平和展開催の意義と取り組み状況は②今年の開催予定は③市長の平和や平和展についての想いは。

答弁 ①平和展では、戦争、被爆

体験談話や写真展、資料展などさまざまな企画を行っており、毎年継続して開催し、市民に平和の尊さを訴え、語り伝えていくことが行政の責務であると考えている②今年は8月4日から7日までの4日間、市立図書館で開催を予定している③戦争を二度としない、させないためにも戦争の悲惨さを語り継ぐことは必要であり、それは戦争を体験したものが生きていくうちにやるべきことと考えている。そういう立場で平和展を開催している。

◆その他◆新特定事業主行動計画について／本庁・支所機能見直しについて

子育て・教育 の一貫支援を



江頭 弘美（政友会）

子育て・教育に悩みを抱える子どもや保護者のために、子育て・教育・文化芸術活動・市民活動のサポートや、にぎわいづくりの拠点として、様々な機能を備えた複合型の施設を建設し、子育てや教育の一貫支援を図るべきではないか。

答弁 市の子育てや教育に関する

相談は、エスプラッツの子育て支援センター、ほほえみ館の健康づくり課、青少年センター、各小中学校、本庁や大財別館の関係各課など複数の課、施設で受け付けている。その際、関係する部署が情報を共有し十分な連携を図りながら、継続的な途切れない支援に取り組んでいる。今後は、現在行っている本庁舎の改修工事にあわせ子育て関連部署を一つのエリアに集約することで、相談機能の強化を図り、子育て・教育の悩みや相談に対応したい。

◆その他◆幼稚園・保育所等の子どもたちの騒音対策について／国庫補助制度の活用の方について

自然災害における 消防団の活動役割



川副龍之介（自民市政会）

地震対応のマニュアルを消防団員に周知するための訓練や研修の必要性は。被災家屋の空巣対策等の防犯は消防団活動の一環か。消防団員が被災を受けた場合、地域の一般の人を一時的に消防団員として受け入れることは可能か。

答弁 消防団員は日ごろ仕事を

しながら災害などの非常時に活動することになり、大規模災害時の研修や対応訓練は大変な必要と考えられている。団員の意見を聞きながら、研修や訓練の充実を図っていききたい。空巣防止のための巡回は、本来警察や行政の業務と考えている。活動内容によっては、消防団と地域の自主防災組織や自治会などと連携して活動ができるものと考えている。今後、制度面等について検討していきたい。

◆その他◆子どもの貧困対策について

佐賀空港の軍事化 問題で市長に問う



山下 明子（日本共産党）

6月3日に国が示した自衛隊の施設配置計画図への見解は。防衛大綱により日米共同・統合化が進む中、「米軍活用を切り離す」という国の言葉への見解は。バルーンへの影響は否めないのでは。市民、漁民、バルーン関係者の意見聴取を。

答弁 時間的な制約からも具体的

な説明を受けていないと捉えており、見解を申し上げる段階ではないと考える。全国のほかの空港と横並びの中でという言葉から、自衛隊だけでなく、米軍の利用もあるというのが率直な受け止め方である。これ以上エリアが狭くなると世界選手権をする魅力がなくなるとの声も踏まえ、まずは、自衛隊と共用するような考えを持っていないという約束事の整理をして話が進む段階によって聞きたいこと、疑問点等を明らかにしていく必要がある。

◆その他◆熊本地震を教訓とした防災・災害対策／安心して暮らし続けられる居住政策の確立を